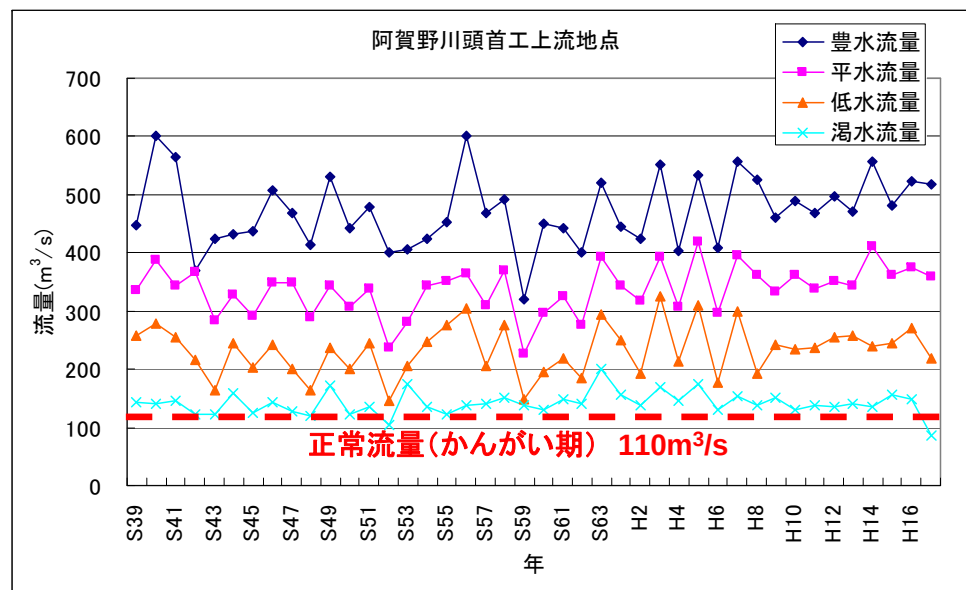


4. 阿賀野川の課題 ◆治水◆

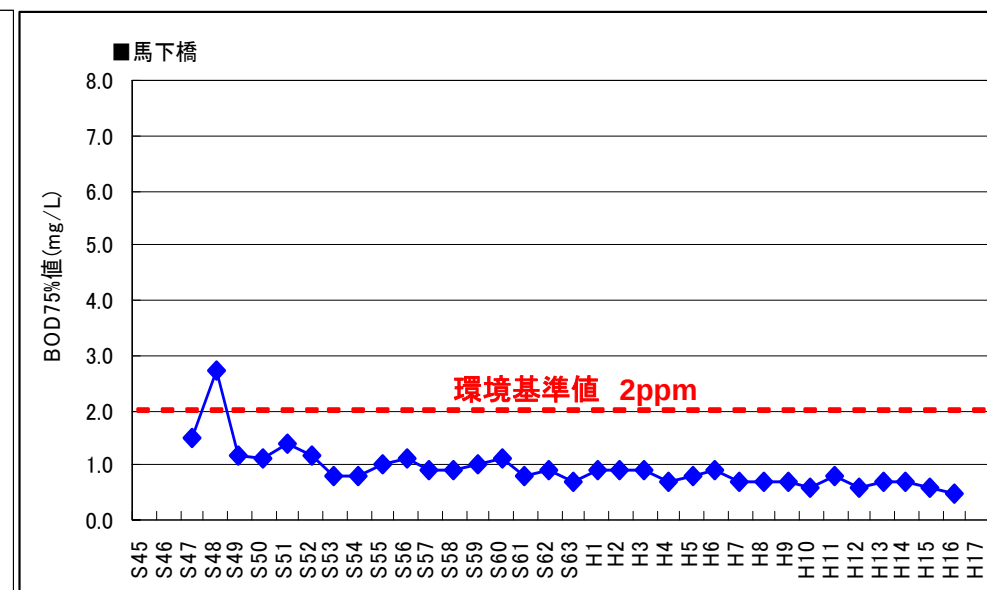
資料一④

現 状		課 題
量の確保	無堤区間、堤防断面不足の存在	無堤区間、弱小堤の解消
	流下断面が小さいと共に、樹木の繁茂により河積が不足する区間の存在	断面不足の解消
	流下能力上のネック箇所の存在 (床固め、JR羽越本線橋梁)	ネック部の解消
	河口砂州の発達、形状変化による被災、特殊堤	河口部対策
質の確保	浸透、地震、漏水に対し弱い堤防の存在、地盤圧密沈下による堤防形状の変化、旧河道上の堤防	堤防の強化、地盤沈下対策
	水衝部や床固下流の局所洗堀による危険箇所の存在	水衝部の強化、河床の維持
減災 (ソフト)対策	氾濫被害軽減のための水防、防災意識の希薄化	防災情報の高度化、避難体制の確立、防災拠点の活用
維持管理	河川管理施設の老朽化・機能維持 河道内樹木の樹林化 砂利採取の減少により土砂動態は小康状態	河川管理施設の維持、樹木管理 総合土砂管理

現 状		課 題
水利用	かんがい用水、水道用水、工業用水として利用	合理的な水利用の促進、関係機関との連携
	正常流量に対して不足は生じていない	現状の流況の維持
水質	水質は環境基準（BOD75%値）を満足 塩水の遡上	良好な水質の維持
	油脈からの油流出	



阿賀野川馬下頭首工上流地点における流況の経年変化



阿賀野川馬下橋地点における水質(BOD)の経年変化

◆ 自然環境・空間利用 ◆

現 状		課 題
自然環境	扇頂部から河口まで多様な動植物の生息・生育環境を形成 外来種の繁茂	豊かな自然環境の保全、多自然川づくり 拡大防止
	構造物により魚介類の行き来が困難	遡上降下の確保
	広大な水面を有した雄大な河川景観を形成	雄大な河川景観の維持
空間利用	散策、スポーツ、釣りや水遊び舟運など多くの人々が利用 水辺の楽校、水辺プラザ、桜堤の利活用 公園等多くの河川占用	適正・多様な空間（水面）利活用の促進、環境学習の場としての活用 合法的占用
	河口部におけるプレジャーボート等の不法係留	積極的かつ秩序ある利活用の拡大
河川管理	ごみの不法投棄 地域住民による河川愛護活動 自治体、NPOによる清掃活動	地域住民との連携・協働した河川管理の推進